

18NSJにおけるSDGsプログラムの取り組み

1 まず、SDGsとは

すでにスカウトのみなさんは「SDGs」という言葉は知っているかもしれません。

ここ数年の間に学校も含め様々なところで「SDGs」という言葉を耳にするようになりました。

SDGsは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」という英語の頭文字をとった略称です。



左の図のように17の目標が決められています。

例えば、目標1は「貧困をなくそう」、目標2は「飢餓ゼロに」、目標7は「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と、さまざまな目標が設定されています。これらの目標は地球規模の問題を解決するための目標です。

地球規模の問題を解決するために、「誰一人取り残さない」という共通理念のもと、国際連合

が加盟する193カ国が2030年までに目標の達成を目指し、国際目標として定められています。

2 ボーイスカウトのSDGsの取り組み

ボーイスカウトでもSDGsに取り組んでいます。SDGsの取り組みは日常生活やスカウト活動の中でも十分に取組むことができます。今まで、スカウト活動の取り組み（キャンプやハイキングなど）で、すでに取り組んでいることもあります。

例えばキャンプの食事作りでは、食材を大切に扱い、食材の廃棄を減らす（ゴミを減らす）取り組み、『目標2「飢餓をゼロに」』を実践したり、植物の生育に配慮したキャンプサイトの設営、『目標15「陸の豊かさを守ろう」』に取り組んでいます。

スカウト活動でSDGsに取り組むとき、右のような視点をもちながら、考え、行動できるといいと思います。

SDGsの取り組みは、日常生活、スカウト活動にかかわらず、自分のこととして目標をとらえ、考え、行動を起こすことが大切です。考えたことを仲間に話し、同じ考えや行動をしようとする人たちが集まって行動を起こせば、大きな力となって目標を達成できます。



SCOUTS for SDGs

- ・スカウトは、身の回りの地域社会に対して目を向ける。
- ・スカウトは、国際社会を体感し、地球上で起きている問題や課題を知る。
- ・スカウトは、自分ごととして考えつつ、仲間と相談する。
- ・スカウトは、自分にできることを考え、行動する。